

奨 学 生 願 書					
ふりがな	いなしき いちろう	生年月日	年齢	性別	貸与希望期間
氏名	稲敷 一郎	平成〇〇年〇月〇日	18 歳	男	令和〇〇年〇月から令和〇〇年〇月まで
希望月額	50,000円				
在学学校	東京 〇〇 大学(学校)	法学部	法律学科	第1学年	
所在地	東京都千代田区千代田〇-〇-〇	電話	03-1234-〇〇〇〇		
本人現住所	東京都渋谷区神南〇-〇-〇〇	電話	×××-×××-××××		
家族住所	稲敷市犬塚〇-〇〇	電話	××××-××-××××		
家 計 内 容 家 族 の 状 況	給与収入		※営業等・農業・不動産・利子・配当・年金・その他 所得金額		
	年収	9,200,000円	所得	円	
	(税込で賞与・諸手当含む)				
	合計	9,200,000円	合計	円	
家 族 の 状 況	氏名	続柄	職業	勤務先	年収(税込)
	稲敷太郎	父	会社員	〇〇建設(株)	5,400,000円
	花子	母	パート	稲敷ストア	3,800,000円
	一郎	本人	大学生	〇〇大学	
	冬子	妹	中学生	〇〇中1年	
家 族 学 経 資 営 金 状 希 況 望 及 理 由	(本人が具体的、かつ、詳細に記入してください)				
健 康 診 断	既往症				
	病名	(歳)	発病	年 月 日	
			全快	年 月 日	
	最近の健康状態(医師の所見)				
	※医師に記入してもらう				
	判定 就学は(可能・要注意・不可能)である。				
	年 月 日				
	医師				印

※健康診断の項目については、在学する学校で行った直近の健康診断書の写しの添付でも可。

本人の履歴	年 月 中学校卒業	平成〇〇年〇月 〇〇 中学校卒業				
	年 月 卒業	令和〇〇年〇月 茨城県立××高等学校卒業				
月平均所要経費	収入の内訳		支出の内訳			
	家庭から	100千円	食費	30千円	授業料	50千円
	内職・定職から	千円	住居費	50千円	学校納付金	50千円
	その他()	100千円	交通費	10千円	その他	千円
	計	200千円	学用品費	10千円	計	200千円
<p>以上のとおり記載に相違ありません。</p> <p>奨学生として採用のうえ奨学資金を貸与されるようお願いいたします。</p> <p>なお、採用のうえは、稲敷市奨学資金貸与条例の規定に従い、奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学資金の返還その他の義務についても、兩名連帯の責任を負うことを誓約いたします。</p> <p style="text-align: center;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: right;"> 本人 ふりがな いなしき いちろう 氏名 稲敷 一郎 ⑩ ふりがな いなしき たろう 連帯保証人 氏名 稲敷 太郎 ⑩ 現住所 続柄 本人の(父) </p> <p>稲敷市教育委員会教育長 様</p>						

(記載上の注意)

- ※印のところは、該当するものを○で囲むこと。
- 家計内容は、家族全員の収入をできるだけ詳細にありのまま記載し、主たる家計支持者1人について前年の収入を証明する書類を添付すること。
- 家族の状況のうち、続柄の前に家計支持者に○印、別居者に×印をつけること。
- 家族経営状況及び奨学資金希望理由は、具体的、かつ、詳細に記入のこと。
- 健康診断は、奨学資金貸与希望者の最近の健康状態を医師に診断してもらうこと。ただし、在学する学校での直近の健康診断書の写しでも可とする。
- 本人の履歴は、休学・転学・退学・身分の異動等も理由を付して漏れなく記入のこと。
- 月平均所要経費のうち、自宅通学者は食費・住居費を記入しないこと。ただし、家計の一部を負担している者は、その額を食費・住居費にあん分して記入のこと。(収入の計と支出の計は一致すること。)
- 連帯保証人は、独立の生計を営む父母兄弟又はこれに代わる者(本人が未成年者であるときは、親権者又は未成年後見人。)で、将来奨学資金返還の責務を負う者であること。
 なお、出願の際は連帯保証人1人でよいが奨学生として採用されたときは、更に別の保証人1人を要するから、あらかじめ考慮しておくこと。
- 所定欄に記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。